



「優しい医療・楽しい職場」

看護部 部長 松下 直美

私は当院に就職して15年が経ちます。15年前、就職当初色々な疑問を抱きながら働き始めました。当時は内科病棟には家族の方と契約を結ばれた家政婦さんも居られ、患者様の生活面でのお世話をされていました。私たちが専門職として患者様に直接関わらせて頂く時間は今に比べてかなり少なかったように思います。

近年行われてきた医療制度改革の中で、どこの病院も様変わりしました。診療報酬が引き下げられ、病院によっては赤字経営の病院も増えてきています。そんな中で、患者様から選び続けて頂ける病院になるためには何が必要かと考える事がよくあります。

私が就職した頃は「アットホームな病院」を目標に運営されてきましたが、時代の流れに対応して「優しい医療・楽しい職場」という理念に変更されました。当初職員からは、「楽しい職場って何だ?」という疑問の声があがり、紆余曲折した時期もありました。私は、深い意味があり、この理念が大好きです。働きがいのある「楽しい職場」が無くては「優しい医療」は提供できないと感じます。では楽しい職場とはどういう職場でしょうか?

最近チーム医療の大切さが各方面で謳われています。共和病院でもチーム医療が急速に進んできました。「医師集団」「看護師集団」と縦割りの病院組織に横軸を刺して縦の壁に穴を空け組織横断的な多職種参加型の業務が増加してまいりました。たとえば褥瘡(床ずれ)

については、不幸にして他病院から転院されて来られた際に褥瘡形成されてきた場合が多く、医師、看護師、栄養士、薬剤師、介護士がそれぞれの立場で意見を出し合い最良の治療方法を考えます。褥瘡以外にも、感染対策、栄養管理、医療安全、情報管理など他職種での取り組みは多岐にわたってまいりました。自分の専門分野以外の人からの意見は多くの学びとなり互いの信頼関係を築く基礎になります。スタッフ同士が良い刺激を受け、支えあい医療の質が向上したと実感した時には大きな喜びとなります。こういう瞬間に出会った時に「楽しい職場」を感じます。

また、先日、7月末の盆踊り大会に向け、実行委員会が行われましたが、多職種が一同に集まり、お互いの業務に支障が起きないように等思いやりに溢れている言動を耳にする事も多くなってきました。国の医療政策は今波乱万丈ですが、当院には確実に「楽しい職場」作りが構築されたと実感しています。

看護部の今年の年間キャッチフレーズを「ひとりひとりが主人公」と決めました。患者様を中心とした医療の中で、患者様との一瞬一瞬を大切にするスタッフこそが当院の顔であり主人公であると感じています。これからも主人公ひとりひとりが「優しい医療・楽しい職場」づくりに取り組めるよう私自身も努力していこうと感じております。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

第10回共和病院地域医療 フォーラム

医療福祉課 河村 勝浩

去る5月17日(土)、第10回共和病院地域医療フォーラムを、大府市役所多目的ホールにて開催しました。今回のフォーラムは、現在共和病院が行なっている退院支援や地域生活支援についてご紹介させていただくとともに、ご参加いただく皆さんと一緒に、患者様の退院後の地域生活支援について考えたいとの思いから、「安心できる地域生活にむけた支援」をテーマとしました。

したいと思ってもらえる地域を作れるか」「質の高いサービスを提供できるか」といった我々支援者への問いかけなど、障がいを持つ方々の地域生活を支えていくうえでの示唆に富んだお話でした。

後半の第2部は地域、行政、院内からの実践報告と指定討論が行われました。

社会福祉法人憩の郷の高山京子氏からは、平成19年度から始まった愛知県の社会復帰促進事業の概要や現状、そして事業の実施を通して見えてきたことなどについて、分かりやすくご報告いただきました。



までに行なった退院支援の実例や退院前訪問看護、そして今後の支援体制の構想についての一題を報告しました。

さらに、実践報告に引き続いて行われた指定討論では、第1部で講演された瀧 准教授から各演者への問いかけや、会場からの質問、意見交換等が活発に行われ、

予定時間に収まりきらないほどの内容になりました。

*

ご講演いただいた瀧准教授を始め、実践報告をいただいた演者の皆さん、そしてご参加いただいた皆さんのおかげをもちまして、全体を通して非常に中身の濃いフォーラムになったと感じています。当日会場にお集まりくださった皆様に、改めてお礼申し上げます。

これから当院では、患者様ご自身やご家族、そして関係機関の皆さんと一緒に、患者様の「自分らしい生活」とはどんな生活かを考えながら、退院と、退院後の地域生活にむけた支援を行なっていきたいと思っております。一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



フォーラム前半の第1部は、「安心できる地域生活にむけた支援～トリアル・地域生活支援・自分らしさ～」と題し、愛知淑徳大学 医療福祉学部 福祉貢献学科 瀧誠准教授にご講演いただきました。ご自身が怪我をなさった後の回復過程で体験したことから始まった講演は、「安心できる空間、安心できる関係」や「顔の見える援助関係」の大切さ、そして、「退院

続く大府市障害者相談支援センターの土井郁代氏は、大府市の相談支援事業の概要と、実際にあった相談事例をとおして、日常生活に密着した援助活動が行われている様子をご報告いただきました。

院内からは、クリニカルパスや心理教育、SSTといった、現在当院で取り組んでいる、退院後の地域生活にむけた支援についての一題と、これ

終末期医療を考える



高齢化社会を向かえ、終末期医療の問題が話題になってきています。当院でもこの問題にいち早く取り組み、約1年間の準備期間の後、平成20年6月11日に共和病院 Terminal Care Team (TCT: 終末期医療チーム)として正式にスタートいたしました。終末期医療とは終末期を迎えた患者様にいかなる医療を提供するかを考える医療であり、終末期とは以下のような場合をいいます。

- ①悪性疾患などの合併症の可能性が高く治療効果が期待できなくなった時期
- ②基礎疾患が進行し介護によっても経口摂取(咀嚼、嚥下)ができなくなった時期
- ③高齢者が熱発など特別な理由がないにもかかわらず徐々に介護によっても経口摂取(咀嚼、嚥下)ができなくなった時期

終末期では自身の予後について、意思表示ができなくなる場合が多くあります。このような時期に、延命のためにどんな医療を希望するのか、あるいは希望しないのか、決定することはなかなか困難な場合が多くあります。共和病院TCTはこのような場合に、ご本人の意思、ご家族の意向を伺って、より良い医療を行い、穏やかな終末期を迎えられるように活動してゆきます。

事前に意思表示したものを『事前指示』といいます。これは自身の意識がはっきりしている時期に、自身の終末期に希望する医療を記載しておく書類です。当院の外来にもこの用紙を用意いたしました。職員で利用している人もおります。共和病院TCTは、より良い医療の一環として、今後も活動を続けていきます。

診療部 保原 怜子

編集後記



今年の夏は、暑くなりそうですね。天災やガソリンの高騰などなど、嫌なことが続き、少々へこみ気味です。数少ない楽しみは、お風呂屋さんに行くことですが、これで何とか日々の生活をしのいでいます。大きなお風呂に入り、サウナで汗をかき、風呂上りに冷たい飲み物を飲みながら、マッサージ器を

資格取得者 のお知らせ

当院では、資格取得に向けて頑張る職員を支援しています。職員自身のレベルアップは仕事の充実感となり、その専門的な知識や経験は、患者様のサービスへと繋がります。

ここに、平成20年春 資格を取得した職員を紹介します。

看護師	長沢 京子 A-2病棟
	川崎 啓子 B-3病棟
	道脇 暁子 C-1病棟
	国松 千秋 C-2病棟
	石井 里美 外来

准看護師	久保 強 C-1病棟
------	------------

介護福祉士	今村 諭史 A-2病棟
	加藤 幸子 B-3病棟
	大蔵 満 B-4病棟
	中村 猛志 C-1病棟
	佐々木保子 C-2病棟
松浦 公恵 C-2病棟	

精神保健福祉士	高木 剛志 医療福祉課
---------	-------------

理学療法士	伊奈 克昌 リハビリテーション課
-------	------------------

使う。ささやかなストレス解消法です。気持ちを立て直しつつ、取り組むべき問題にも向き合っていかなければと感じます。

名誉院長のコーナーが前回をもって終了いたしました。楽しみにしていた方も多かったと思います。今後は、また新たな企画を検討していきます。ご期待ください。(Y.K)

「迅速・親切・丁寧」が モットーです!

この4月より当院の
医事課においてもフレッ
シュな面々が医療事務

に就いております。「迅速・親切・丁寧」を
モットーに今まで以上に患者様やご家族の
視点に立って皆様と接しておりますが、そ
れぞれの社会経験を積んでいても当院では
不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけし
ているかもしれません。ひとつひとつ改善
していくためにも、皆様の声を大切に感じ
ております。

皆様が正面玄関を入ると、総合案内を担当
する女性職員がお迎えます。患者様が来

患者様に改正内容など
の説明ができるように
医事課職員を配置して

おります。また患者様・ご家族に必要な最
新の情報を、外来掲示板にて紹介しており
ます。ご来院の際は是非ご一読ください。
ご不明な点がございましたら、お気軽にお
申し出ください。

スタッフ全員、笑顔で心に余裕を持ち「迅
速・親切・丁寧」な仕事が行えるようチーム
ワークを大切にしております。これからも
よろしく願います。

医事課 課長 野々山 美樹



院され、診察終了後会計を済ませられるまで、
病院の「顔」として日々努力しております。

総合案内の役割は、患者様やご家族、ご
来院者の方に「安心と快適」を提供するこ
とです。お見えになる方の立場で、「自分だっ
たらどうしてほしいだろう?」を考え、見守
りながら状況に応じて声かけや手助けを行
うなど、対応させていただいております。患
者様の立場で考え、関係部署と情報を共有
し、より良いサービスが提供できるように心
掛けております。

医療法の改正により後期高齢者医療制度
(長寿医療制度)をはじめとして、諸手続き
が複雑化しています。当院では外来、入院

お知らせ

- ★自立支援医療は、有効期限があるため、お早
めにお尋ねください。
 - ★毎月末日で期限が切れる保険証、受給者証
があります。お持ちの方はお早めに手続きを
行ない、窓口へ提出してください。期限が切
れるのは下記の通りとなっています。お住ま
いの市町村によっても異なります。
 - *国民健康保険証
 - *限度額適用認定証
 - *標準負担額適用認定証
 - *高齢者受給者証
 - *後期高齢者医療被保険者証
 - *障害者医療受給者証
 - *母子家庭医療受給者証
- 宜しく願いいたします。

お知らせコーナー

- 7月31日(木)
盆踊り大会を開催します。
模擬店(無料)も出店!どなたでも参加いた
だけます!
- 8月14日(木)~17日(日)
お盆のため休診となります。
- 9月17日(水)
秋の総合防災訓練を実施します。

- 9月28日(日)
第26回 福祉・健康フェアに出展します。
テーマは「笑おう・遊ぼう・楽しもう!」です。
 - 10月1日(水)より
当院は全館敷地内禁煙となります。
 - 10月11日(土)
第3回 文化祭「てんてん祭り」を開催します。
テーマは「彩(いろど)る」です。みなさまの参
加をお待ちしています。
- ※詳細は、追って院内掲示にてご連絡します!



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは!

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全か
つ納得のいく医療を受けていただくこ
とを目指し、それぞれの尊厳を大切に
して、思いやりのある医療を提供しま
す。さらに、地域関係機関との密接な関係
を保ち、地域の医療水準の向上に努め
ます。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病
気の性質などにかかわらず、必要な医
療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性
および回復の可能性についてあなたが
理解できる言葉で説明を受け、それを
十分納得して同意したのちに、医療を
受けることができます。ただし、必要に
応じて主治医の判断によってご家族、
代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、
検査、看護・介護、食事その他について
ご自分の希望を申し出ることができま
す。また、他の医療機関に転院したい
場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報は保護
されます。
- 5.あなたの社会でよりよい生活が提供
されるよう、地域関係機関との連携を
図ります。

病院長 榎本 和



特定医療法人
共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>